

## 豚へのレンコン残さの給与が肥育成績に及ぼす影響

豊富な水資源に恵まれている霞ヶ浦周辺は、日本一のレンコンの産地です。レンコンは本県の重要な品目と位置づけられています。しかし、レンコンの出荷調製時に排出される残さは、年間 1,200t 程度といわれており、これらの有効利用が望まれています。その活用方法の一つとして、家畜への飼料利用が上げられます。食品残さを飼料化したものはエコフィードといわれており、資源リサイクルの観点から、近年注目されています。そこで、レンコン残さを有効活用するために、豚へのレンコン残さの給与が肥育成績に及ぼす影響を検討しました。

### [主な特徴および内容]

- 試験区は、以下の 2 区を設定しました。
  - ① レンコン給与区：レンコン残さ 450g/日（飼料中約 15%）+ 一般配合飼料（不断給餌）
  - ② 対照区：一般配合飼料（不断給餌）
- 試験は夏期（7～9 月）に実施し、体重 70～110kg の間、試験飼料を給与しました。
- レンコンの現物中の成分値は、水分 83.0%、粗蛋白 1.6%、粗脂肪 0.1%、粗繊維 0.6%でした。

### [主な成果]

- 給与飼料中 15.5%（実測割合）のレンコン残さの給与は、両区の日増体量（DG）に差がなかったことから、発育に影響を及ぼさないことが明らかになりました。
- レンコン残さの給与により肥育期間の配合飼料摂取量が 10kg 低減し、配合飼料に対する飼料要求率が改善されました（表 1）。また、可消化養分総量（TDN）摂取量に差はなく（図 1）、栄養的に不足しないことが明らかになりました。

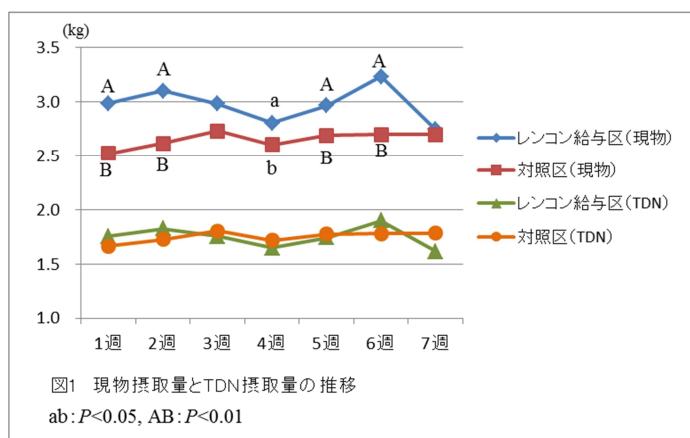


表1. 試験期間中のDG, 飼料摂取量, および飼料要求率

	DG(kg)	飼料摂取量			飼料要求率	
		試験飼料		配合飼料	飼料全体	配合飼料
		現物(kg/頭)	TDN(kg/頭)	現物(kg/頭)		
レンコン給与区	0.78	154.4 <sup>A</sup>	91.1	130.6 <sup>b</sup>	3.85	3.26 <sup>B</sup>
対照区	0.79	140.6 <sup>B</sup>	93.2	140.6 <sup>a</sup>	3.61	3.61 <sup>A</sup>

ab : P<0.05, AB : P<0.01

### [期待される効果]

- レンコン残さを豚の飼料として活用することにより、以下の効果が期待できます。
  - ① 肥育期の配合飼料給与量減少によるコスト削減。
  - ② 未利用資源の地域内有効活用。
  - ③ 新たなブランド豚の作出。